

<p>△産業宣教/金土日時代のやぐら 18 伝道支会を生かす主役 (ルカ 10:1-20)</p>	<p>△ART と TCK 伝道学/三つの庭のモデル 18 地域と世界を生かす準備 (使 18:4)</p>	<p>△核心/RT-DAY 6 月学院福音化</p>
<p>△今、世界教会は門を閉めている。私たちの基準は私たちの職業が伝道運動と関係あること。私たちは伝道できる地域があるべきで、伝道支会生かす主役にならなければならない。子どもたちが行ってみことば聞いて祈らなければならない教会学校がみななくなっている。私たちは本当に祈り始めなければならない。</p> <p>□序論_礼拝の時ごとに確認すること</p> <p>1. カルバリの丘-すべてのわざわい、のろい、地獄、過・現・未、すべて完了した(ヨハ 19:30)。今うまくできない部分が正確な始まりだ。この始まりを正しくすれば一生の答えが与えられる。</p> <p>2. オリーブ山-礼拝の時ごとに正確なミッションが出てくる。</p> <p>3. マルコの屋上の部屋→体験</p> <p>1) 三つの祭り(五旬節) 救われた過越祭。背景が御座(仮庵祭)。今起きている働きが五旬節。</p> <p>2) 使 2:42 みことば、祈り、伝道、現場の流れと世界の流れが(使 2:9-11)見える。</p> <p>3) 使 2:46-47 毎日みことばが成就し始める。</p> <p>□本論_どのようにすれば</p> <p>1. ルカ 10:10-20</p> <p>1) 現場 重職者に実際の現場を見せたこと</p> <p>2) 悪霊 主の御名で祈ると悪霊も追い出された。</p> <p>3) 名前 あなたの名前が天国に記録されたのを重要だと考えなさい。</p> <p>△伝道者が見た現場は 99%悪霊文化</p> <p>2. 使 1:14 どのように答えられるのか「心一つにして祈っていた」</p> <p>1) 祈るのに絶対やぐらが見えなければならない。</p> <p>2) それでこそ絶対旅程を行って 3) 絶対道しるべを建てる。</p> <p>3. 使 2:9-11 5 流れ P.</p> <p>15 か国の門が開いた。礼拝をささげるとき、5 つの流れを見て私のポイントを見つけなさい。みことばの流れ、祈りの答えの流れ、伝道・救いの働き、地域の霊的流れと一つの国の流れを見て必ず祈りなさい。</p> <p>4. 使 11:19 さらに重要なこと</p> <p>1) 散らされた者が集まった。全く計算でなく神様との関係</p> <p>2) 更新の時刻表</p> <p>3) 異邦人が来て伝道者に変った 1 人は一つの国より大きい。</p> <p>5. 使 13:1-12 方法は完全に聖霊に導かれたこと</p> <p>使 16:6-10 伝道も聖霊の導き</p> <p>使 19:1-21 マルコの屋上の部屋を体験してティラノに、ローマも見なければならぬ。</p> <p>□結論_どのように</p> <p>証拠 答えと伝道とすべてのことが見えなければならない。</p> <p>証人 金土日時代に、237 か国と 5 千種族に証人として。</p> <p>証拠 7・7・7 私に証拠があれば自然に行き行って話すようになる。</p>	<p>□序論</p> <p>1. 祈り 300% -ヨセフはこれを持っていたので、簡単だった。</p> <p>1) やぐら-私の中に主のやぐらが建ったのだ(プラットフォーム)。レムナントは無条件に祈りのやぐら作りなさい。</p> <p>2) 旅程-祈りのやぐらを持って旅程に行く(光を照らす見張り台)</p> <p>3) 道しるべ-所々に光を放つ道しるべを作る。(アンテナ)</p> <p>2. 学業</p> <p>1) 237 2) 5000</p> <p>3) TCK と合ってこそ世界福音化する。</p> <p>3. RT がこれを分かれば</p> <p>1) 時空超越と 2) 空前絶後の答え</p> <p>3) 御座の祝福/神の国が臨んで、神の国のことが成し遂げられる。</p> <p>使 19:8 これをわかったパウロに働きが起った。</p> <p>答えはここから始まる。</p> <p>□本論</p> <p>1. 使 17:1-9</p> <p>1) 会堂に行った</p> <p>2) テサロニケはローマと通じる道がある地域</p> <p>3) キリスト一つを正しく説明した</p> <p>2. 使 18:1-4</p> <p>1) コリント-最大の偶像がある、暗闇文化に完全に覆われている 港町</p> <p>2) 会堂を訪ねて行った</p> <p>3) 金土日時代-安息日ごとにレムナントは礼拝と祈りが何なのかだけ悟ってもすべてをみなすることができる。</p> <p>3. 使 19:8-20</p> <p>1) ティラノ-アルテミス神殿があるエペソの中心都市</p> <p>2) 会堂を訪ねて行った</p> <p>3) 神の国-神の国について説明</p> <p>□結論_パウロが切なく教えている背景。</p> <p>1. AD70-1948 年までイスラエルは完全に滅亡</p> <p>2. AD79-ローマの文化中心地、ポンペイが噴火した</p> <p>3. AD313-ローマがキリスト教を国教として宣言。レムナントが福音を受けるその時間が神様が未来を備えられる時間だ。だまされてはならない。</p>	<p>□序論</p> <p>-暗闇のやぐら(マタ 12:26-30、II コリ 10:4-5): 私たちが不信仰して、ほかの人に害を加えようとするとき、サタンが家を作って要塞を建てる。</p> <p>-御座のやぐら(使 1:3): 皆さんが祈る時間に、世界福音化を置いて契約を握っていると御座のやぐらが続けて作られている。</p> <p>※今から必ずすべきこと、大人たちが味わってレムナントに伝達しなければならないこと</p> <p>1. 始まり-サミットタイム(人を生かすプラットフォームになる)</p> <p>2. 目標-300%(光を放つ見張り台になる)</p> <p>3. 道-5 流れ(この流れを分かれば御座と通じるアンテナになり)-時空超越の答えが与えられる。みことば、祈り、救いの働きは今も成されているが私はどのあたりにいるかを確認すべき。私の現場の霊的流れ、祈る一つの国の流れも見なければならぬ。</p> <p>4. 身分-7・7・7 を味わう見張り人(空前絶後の答えが与えられる)</p> <p>5. 暗闇に勝つ権威- 3 庭、金土日、黙想(記念碑的祝福が起こる)</p> <p>□本論_6 月-どのように勉強、事業、伝道をするのか</p> <p>1 聖霊の導き(使 13:1-12) 始まり</p> <p>1. 人、場所、ことが確実に見えるのが基準</p> <p>2. 暗闇文化から砕いてしまった</p> <p>3. 総督-弟子になった。</p> <p>2 聖霊のターニングポイント(使 16:6-10) 困難-ターニングポイントを見つけること</p> <p>1. 門 x-聖霊がアジアに行く門を防がれた</p> <p>2. マケドニア-より大きな門を開けられた。</p> <p>3. リディアとの出会い-ピリピを生かす重職者になった。</p> <p>3 聖霊の実(使 19:1-21) 神の国-この部分は待てば良い</p> <p>1. 使 13:12 総督 2. 使 16:15 リディア 3. 使 19:21 ローマ</p> <p>4 確信(使 27:24) 危機-「恐れることはありません。パウロよ」福音を伝えることが残っているなら、死ぬことができない。</p> <p>1. 罪囚として皇帝に裁判を受けにローマに行くパウロ</p> <p>2. 暴風(死の危機)-神様がくださった機会だ。パウロのゆえに生き残った。</p> <p>3. カエサルの前に立つようになった</p> <p>5 使命(ロマ 16:1-27) 裏面契約が出てくる。私は伝道者の</p> <p>1. 支援者 2. 同労者 3. 家主 4. 労苦する者</p> <p>5. 伝道者とともにいる者 6. 認められている者(いのちをかける人)</p> <p>7. 同胞(親戚:無条件私側)</p>
	<p>△散らされた弟子たち/7・7・7 のモデル 18 散らされた弟子の目(ロマ 16:25-27)</p> <p>私たちがこの(核心)祝福を持っていれば三つのことを見るようになる。</p> <p>1. やぐら(神様の力)を見るようになる。</p> <p>御座、神の国、神の国のことが見える。</p> <p>2. 旅程(道)が見える。</p> <p>伝道、宣教、弟子が見える。</p> <p>3. 道しるべ(続いていつまでも次世代を生かす遺産)を残すようになる。</p> <p>作品と足跡、記念碑を残すようになる。</p>	

△区域メッセージ第 22 週/2 部：私とレムナントに刻印させること 青少年の最高の重要な時刻表(詩 78:70-72)	△聖日 1 部 神様に失敗はない(ルツ 1:15-18)	△聖日 2 部/神殿建築礼拝 先に受ける答え (I 歴 29:10-14)
<p>世界レムナント大会を通じてレムナントが日頃、何をするのかを教えてあげなければならない。ところで私たちは 1 か月に 4 日、事実上 4 時間、一週に一度集まっているので、私たちの子どもは礼拝一時間、説教およそ 30 分聞いて行く。しかしユダヤ人は、金曜日の夜から土曜日まで何もできないようにして、集中的に訓練させるので、世界を掌握するしかない。ところで、アメリカは早くから金土日時代が来て危険なことが起こっている。教会はこれを担うことができなくて子どもたちは金土日に外に出て行っている。開発途上国は、最初から崩れていて、韓国もほとんど放置された状態だ。それゆえ、「最高の重要な時刻表」である金土日時代を逃してはならない。</p> <p>□序論_一生 青少年の時に受けたこと(私たちがレムナント、学生たちに植えたこと)は一生続く。それで幼い時に植えてあげなければならないのだ。</p> <p>□本論 1. 金曜日-癒やし 金曜日には癒やし側に多くの祈りが必要だ。病気になったのは医者に任せれば良いが、実際にはそれ以前に癒やすことが多い。傷、ショックを受けたこと、遺伝のこと、良いこともあるが家系から来た霊的問題もある。 1) 必読書-子どもたちに、必ず読むべき本を語りなさい。 2) 発表-カ-子どもたちが発表もして、力を受けることができるようにさせなさい。 3) お使い-聖書で最も重要な教育の一つがお使い教育だ。ゴリヤテを倒した時間が、父がダビデにお使いに送った時間だ。</p> <p>2. 土曜日-7 つ 1) 本をフォーラムしながら必ず神様のみことばで答えを出さなければならない。 2) 人物の学びをしながらキリストで答えを出さなければならない。 3) 三つの祭り-伝道運動、正しくなされた産業をするには、その人々が守る三つの祭りを知らなければならない。 4) 礼拝と祈り-人間の行為のうち一番重要な行為だ。 5) ただを発見 6) 唯一性を味わう 7) 再創造に挑戦 △アメリカを掌握しているニューエイジ、フリーメイソン、ユダヤ人、3 団体に教会はついて行くことができずにいる。</p> <p>3. 日曜日-流れ 日曜日にはみことばと祈り、伝道の三つは神様が成し遂げておられるので、その流れを見なければならぬ。この流れを発見する瞬間、人生が変わる。</p> <p>□結論_使 1:3 イエス様が 40 日間、神の国のことを説明された。それゆえ、私たちの次世代、レムナントに成功できる 300%を刻印させなければならない。神様は私たちに対する 100%、私たちの次世代が行く道に 100%、私たちの未来を 100%準備しておられる。</p>	<p>□序論_サタンの偽り(だましごと) 1. 最も大きい影響を与えるネフィリムの実体 1) ネフィリムの影響下にある国々と人々 2) ヨハ 8:44 偽りの父、サタンの目的-殺すこと 3) I コリ 10:20 偶像崇拜は悪霊にすること 2. サタンの 12 のだましごと 1) 問題の始まり-今も続いている。 (1) あなたが神ようになる(創 3 章) (2) ネフィリム-ひとまず力が生じるが、結局は滅びる(創 6 章) (3) バベルの塔-成功できる。結局、崩れる(創 11 章) 2) 苦しいのがく-シャーマン、悪霊につかれた古い師を訪ねて行って、神社を作って仕える(使 13、16、19 章) 3) 未信者状態 6 つ-主人がサタン、偶像崇拜、精神問題、肉体問題、子孫問題、永遠の背景である地獄 3. 本文の背景-終わりが無い暗闇の問題の前で決断したナオミとルツ 1) モアブ-イスラエルを攻撃して、ケモシュ偶像に仕える国 2) モアブの地で未亡人になったナオミと二人の嫁 3) ナオミとルツの決断 □本論_決断-お母さんの神様が私の神様 1. 私のすべての過去を変える契約の神様-過去、現在、未来を変えるターニングポイント(離れること) 1) 過去を完全に離れてしまわなければならない。 2) 悪霊が度々訪ねてきても恐れる必要がない。神の子どもの決断を下しなさい。 3) 私のすべての過去を変える契約の神様、その神様が私の神様 2. 私を新しくする創造の神様-神様の力に変えるターニングポイント(味わうこと) 1) 三つの祭り 2) 契約の箱の中にある契約の内容 3) 幕屋中心 △信じて求めたことは受けたと信じなさい。今、神様のみことばは強く握りなさい。 3. 永遠の神様-次世代に世界福音化を伝達するターニングポイント(実) 1) 契約を握ってカナンに入った遊女ラハブとサルモンの息子ポアズ 2) 契約を握ったルツとポアズの息子オベデ-孫エッサイ-エッサイの息子ダビデ。 3) ダビデの子孫イエス △滅びるしかはないだましごとから抜け出して、今、契約を握って主のやぐらを建てなさい。すると未来は出てくるようになる。</p> <p>□結論 1. だまされてはならない-今の成功と失敗 モアブの地に行ったことを宣教に変えられた神様、ルツを宣教師として連れてきて契約を回復して、ダビデという人物も出てくるようにされた神様、使い道のなかった私を呼んで伝道者として用いられた神様 2. 本当の答え-わざわざと暗闇を防ぐ伝道運動 3. 過去(終わらせなさい)、今日(確実な契約を握りなさい)、未来(次世代のため)</p>	<p>どのようにすれば答えを受けられるのか。どのように始めれば良いのか。先に受ける答え、今受ける答え、永遠の答えを常に見なければならぬ(祈りの人の原理) □序論_ダビデが先に受けた答え 1. 御座のやぐらを祈りで先に建てた。プラットフォームができて、神様のことがすべて与えられた(詩 17:3、主は私のやぐら、避け所、要塞) 2. 御座の光を放つことができる見張り台が作られた。 3. 時空超越の祈りを続けて味わったのでアンテナになったのだ。 4. 行く所ごとに見張り人の役割をして空前絶後の答えを受けた。 5. 多くの人を生かす記念碑を建てる答えとして多くの足跡を残した。 △聖書では最も重要に語られたことだ。サミットタイムを先に持ちなさい。</p> <p>□本論_神殿を作るという課題が出てきた。過去、私たちの先祖は幕屋中心、全世界の弟子を呼んで派遣する神殿中心に行くしかない。(答えを受ける原理である当然、必然、絶対が見える) <u>今、受ける答え三つ</u>が見える。 1. 時代一度の機会を強く握った 1) I サム 1:9-11 ナジル人として生まれたサムエル 2) I サム 7:1-15 ミツバ運動を行った主役サムエル 3) I サム 16:1-13 そのサムエルが訪ねてきて王になることを約束して油を注いだ。契約の箱、神殿の話を時代的な機会として握った。この日以来、主の霊が激しく下ったのだ。 2. 現場の機会-今日 1) 詩 78:70-72 羊飼いだったときに祈って力を養った。みことば暗唱、詩篇記録、楽器練習、羊を守る技術を磨いた。 2) I サム 17:1-47 ゴリヤテの侵略が機会、すぐに砕いた。 3) 詩 23:1-6 困難-正しい軍人、臣下を集める機会 3. 永遠の機会 1) I サム 16:13 正確な契約を握る瞬間、主の霊が激しく下ったのだ。 2) 雅 4:1-5 1 千やぐら-国を強固にして、あちこちに祈り場を作った。 3) I 歴 29:10-14 すべての民が立ち上がって神殿を完全に準備した。</p> <p>□結論_霊的な目 多くの人が問題と困難に見たことをダビデは答えと機会として見た。人側に立つのか、神様側に立つかだ。神殿建築は私の人生にあるか、ないかと言える祝福だ。 詩 5:3 朝神様に祈った。 詩 17:3 主が夜に私を問いただされる。 詩 23:1 主は私の羊飼い。私は乏しいことがない。 <u>神殿-やぐら</u>が建てなければならない。 行く道-<u>御座</u>の旅が見えなければならない。 行く道に<u>記念碑-作品</u>が見えなければならない。</p>